

古写真展示会

オーストリアの写真家モーザー・コレクション展

—ガラスネガから復元する明治初期の日本—

2月20日(月)・21日(火)、10:00~16:30
東京大学史料編纂所展示ホール(1階)ほか

1869年、オーストリアの条約交渉使節とともに来日したミハエル・モーザーは、明治初期の日本の風景を撮影し、また多くの写真を本国へ持ち帰りました。横浜で発行された英字新聞ファーイーストに掲載された写真のカメラマンとしても著名です。今回オーストリアで新たに発見されたコレクションには、日本の風景・人物・工芸品などを撮影した湿板写真のガラスネガが多く含まれています。撮影したデジタル画像を反転し拡大することによって、驚くほど精密な画像を得ることができました。今回の展示では、こうして復元された明治初期の日本の風景を中心にをご紹介します。ぜひ御来場ください。



収集したデジタル画像約150点を大型ディスプレイでお見せします。また、東京、横浜、鎌倉、京都、長崎など、日本各地の写真を引き伸ばして展示。本邦初公開の貴重な画像も多く登場します！

※2月21日(14:00~17:00)、共同研究者のボン大学ペーター・パンツァー名誉教授による報告「ドイツとオーストリアの文書館における日独/日奥関係の史料について」(日本学士院と共催)も行われます。あわせてご参加ください。

主催：東京大学史料編纂所

附属画像史料解析センター古写真研究プロジェクト・科学研究費補助金基盤研究(C)「19世紀日本関係古写真の調査収集と解析による年次の研究」(研究代表者:谷昭佳)・三菱財団人文科学助成研究「幕末維新期の在奥日本関係古写真・ガラスネガの総合的研究」(研究代表者:保谷徹)